

# 常に進化を続ける、RISO感熱スクリーン製版システム

ゴッコプロ10年の歩み

用途で選べる  
理想科学工業の  
RISO DTS  
RISO Dry Thermal Screen System

MiScreen a4  
2019年発売

持ち運び便利な  
コンパクトで手軽な  
シルクスクリーン製版機



GOCCOPRO  
QS1836  
2021年発売予定

A3サイズの製版に最適  
長台印刷方式に対応した  
プロフェッショナルモデル



高精度&高画質!  
Tシャツ用自動印刷機の大判枠に対応した  
プロフェッショナルモデル



GOCCOPRO  
QS2536  
2017年発売

対応枠サイズが豊富!  
A2ワイドサイズの製版ができる  
ハイスペックモデル



GOCCOPRO  
QS200  
2014年発売

低コスト&省スペース  
長尺製版も可能な  
ビジネスエントリーモデル



GOCCOPRO 100  
2011年発売



プリントゴッコ  
1977~2012年  
(写真はプリントゴッコB6  
イエローボディ)

35年間で  
累計1,000万台を超えた  
ロングセラー商品

初代デジタル  
スクリーン製版機



SP400D  
2001~2010年  
(SP400Dは国内のみ販売)

日本国内 (SP400D)

マーケット拡大中 香港 メキシコ 中国、韓国 タイ シンガポール 台湾 UAE、中東 フランス、イタリア、スペイン、ドイツ アメリカ、オーストラリア

2021 2020 2019 2018 2017 2016 2015 2014 2013 2012 2011 2010

## 視認性をアップさせたマスター補強剤が登場!



### RISO MASTER HARDENER RED

製版済みのスクリーンマスターにコーティングすることで耐久性がアップする水性補強剤。耐刷枚数が1版あたり1,000枚以上(\*4)に増加し、ピンホールの発生も抑制する。色付きなのでスクリーンマスターが着色され、版合わせがしやすい(写真右)。水性インク、プラスチックインクに対応している。  
\*4……理想科学工業社による実測値。

## 充実のインクラインナップ!



RISO水性インク1000ml (7色)

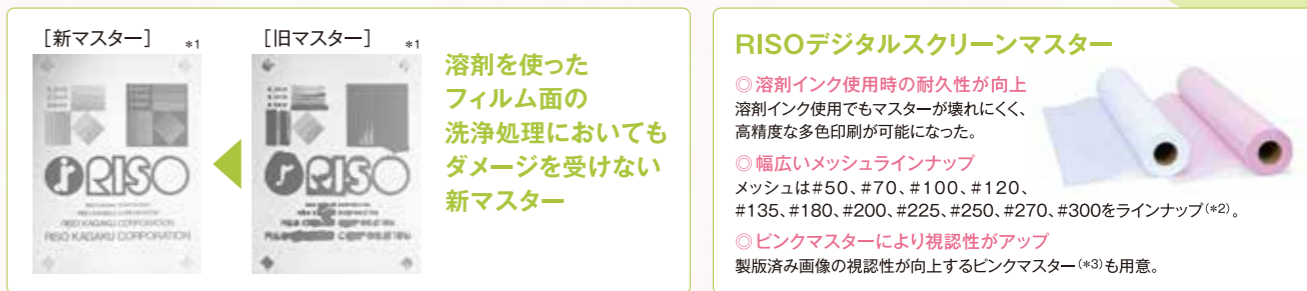
RISO水性インク100ml (8色)

ラバー (8色)

特色 (10色)

蛍光 (3色)

## 耐刷性・耐溶剤性が向上した第三世代のスクリーンマスター!



\*1……RISOスクリーンマスター200メッシュで高荷重をかけサーマルクリーナー#2で裏表100回ワイピングした時のマスター画像。  
\*2……受注生産のRISOデジタルスクリーンマスターを含む。GOCCOPRO100用のメッシュは#70、#120、#200のみ。  
\*3……QSシリーズ用の#70、#120、#200のマスターのみ。

## GOCCOPRO Forum

ゴッコプロ関連の情報サイト  
【ゴッコプロフォーラム】  
<https://gocccoproforum.net/jp/>

### お問い合わせ

RISO 理想科学工業株式会社  
プリントクワイエット事業部

お客様相談室  
☎ 0120-343-338

受付時間 10:00~12:00 13:00~17:00  
(土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く)  
東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4階

[www.riso.co.jp/product/digitalscreenmaker/gocccopro](http://www.riso.co.jp/product/digitalscreenmaker/gocccopro)

ともゴッコプロシリーズが人気の理由だろう。ゴッコプロ100の発売から3年後にはA2ワイドサイズに対応した「QS200」を発売。さらに3年後、1200dpiの高精度・高画質を誇るハイエンドモデル「QS2536」を開発した。そしてこの春、長台用枠に対応する「QS1836」が新たに追加される。このようなユーザーニーズに合わせたハード開発はもちろん、機械を売るだけでなくソフトウェアやサブライミッドで研究するのも理想科学工業のユニークなところだ。これまでも、耐溶剤性を高めたスクリーンマスターや耐刷性をアップする補強剤「RISO MASTER HARDENER RED」、パソコン上の原稿データを自動で色分版する専用ソフト「ゴッコプロ・スマート色分版」などをユーザーに提供してきた。

その結果、今やデジタルスクリーン製版機の代名詞となった「ゴッコプロシリーズ」だが、エロジやデジタル化に対する取り組みが進む欧米では、もはやゴッコプロがスクリーン製版の常識になりつつあるという。

発売から10年。ユーザーが満足するマシンへと着実に進化してきたゴッコプロシリーズ。その背景には75年にわたる孔版印刷の知見と、理想のデジタルスクリーン製版を追求するたゆまぬ努力があったと言える。

理想科学工業のデジタルスクリーン製版機「ゴッコプロシリーズ」はスクリーン印刷の世界に革新をもたらしたマシンと言って良いだろう。プリンター感覚の簡単な操作でスピーディーかつ低コストにスクリーン製版ができ、しかも暗室や水洗設備が不要なので設備投資もわずかで済む。乳剤製版より省工程、省コスト、エロジ製版方法だ。

シリーズ初の機種「ゴッコプロ100」が発売されて今年で10年を迎えるが、そのコアテクノロジーである「RISO DTS (RISOドライ感熱スクリーン製版システム)」のルーツを遡ると1958年に世に出た謄写版「RISOグラフ」に辿り着く。これは謄写印刷業として創業した理想科学工業(1946年の創業当時の社名は理想社)が開発した印刷機。その後家庭用簡易印刷機「プリントゴッコ」(1977)、自動印刷機「リソグラフ」(1980)など謄写版の原理を活かした製品を生み出していった。

謄写版もスクリーン印刷も孔版印刷の一種である。そこで理想科学工業は、リソグラフの製版の仕組みから派生したデジタルスクリーン製版機「SP400D」を開発。そのマシンの性能をさらに進化させたのが「ゴッコプロ100」である。また、ホビー感覚で孔版印刷が楽しめる「プリントゴッコ」の手軽さは、プロシユーマーの製品づくりに役立つ「MiScreen a4」へと繋がっていく。

このように、「ゴッコプロシリーズ」は1日で生まれたものではなく、75年にわたって孔版印刷メーカーとして歩んできた理想科学工業だから生み出したシステムなのだ。

その後も「理想の製版機」を追究し続けたこ

\* RISO DTS = RISO Dry Thermal Screen System の略。